様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
国際観光学部	国際観光学科	夜・通信	0	—	25	25	13	
子ども教育学部	子ども教育学科	夜・通信	0	—	29	29	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ＨＰにて公表している。
http://www.heian.ac.jp/about/disclosure/academic-support/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

１．理事（役員）名簿の公表方法

法人本部ＨＰにて公開している。また大学の修学支援新制度ページからリンクを貼っている。

法人本部　http://head.heian.ac.jp/about/organization.html

大学ＨＰ　http://www.heian.ac.jp/about/pdf/List-of-no-member.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	主教	～2025 年 3 月 31 日	キリスト教関係担当理事
非常勤	一般社団法人副理事長	～2025 年 3 月 31 日	学生部担当理事
（備考）			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）
シラバスの作成マニュアルとして「シラバスの作り方」を作成し、全授業担当者に配布している。その中で授業内容、到達目標、成績評価の方法等について記載するように求めている。当該年度のシラバスは、4 月上旬の履修登録ガイダンス期間（例年 4 月 4 日頃）から公表している。

授業計画書の公表方法	大学公式サイト上で公開している。 以下の URL にアクセス、「シラバスの閲覧について」の欄のリンクをクリックして、ゲストユーザーとして、シラバス検索をすることができる。 https://unipa.heian.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
シラバスにおいて、成績評価について「一貫した基準であること」「明確かつ公正であること」「学生の学習意欲を促進させるものであること」に留意し、どのような項目を成績評価の対象とするか、全体を 100%とするとその割合はいくつか、を記載するよう全教員に求めており、シラバスの様式として、以下の項目を用意している。

期末筆記試験	期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。
期末レポート試験	期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。
平常点(小テスト)	授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細（小テスト○%等）を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点は行わない。
成果発表	授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。
作品	授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。
その他	上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。

授業担当者は、シラバスに記載した評価方法に基づき、厳格かつ適正に単位の授与を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

学期ごとに、全履修科目の成績評価の平均値を示すＧＰＡ（Grade Point Average）を算出する。算出式は次の通りである。

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{\text{（履修登録科目のグレード・ポイント×単位数）の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$$

グレード・ポイントは当該科目の成績評価により次の表の定めるとおりである。但し、N（認定）はＧＰＡの評価の対象とはしない。

評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	失格
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学公式サイト上で公開している2020年度学生便覧の「６．成績と単位認定」にＧＰＡについて記載している。 http://www.heian.ac.jp/student/class/requirements/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学では、大学全体の学位授与の方針（ディプロマポリシー）と学部ごとのディプロマポリシーをそれぞれ規定している。

【平安女学院大学の学位授与の方針】

キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神である「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間に育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目標に掲げ、その実現を目指した教育課程を編成しています。
卒業までに以下の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生は卒業が認定されます。

・社会人としての基礎である、「ジェネリックスキル」を習得するとともに、専門分野の学びを通して「学士力」を身につけ、インターンシップや実習等を通して「社会人基礎力」を体得する。
・建学の精神である「知性を広げ、望を高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間の姿として躾（マナー）・心得（スキル）・愛（思いやり）という３つの資質を備える。

【国際観光学部　学位授与の方針】

１．本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
２．課題発見、探究能力、実行力を核とするジェネリックスキルを身につけている。
３．ホスピタリティ精神をもって他者と接することができる。
４．観光の学びを通して、日本・世界の社会や文化の多様性を理解している。
５．地域社会の課題を理解し、さまざまな地域活動に取り組み、地域に貢献できる能力を身につけている。
６．国際的な環境の中で、能動的なコミュニケーションをすることができる

<table>
<tr><td colspan="2">【子ども教育学部　学位授与の方針】
１．本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
２．子どもの教育や保育に関する幅広い知識および技能を身につけ、それを応用し、実践につなげることができる。
３．子どもの教育や保育に関わる専門家としての責任感、倫理観を持って、社会に貢献することができる。
４．子どもを取り巻く様々な課題を多角的にとらえ、必要な情報を収集、分析、整理し、問題解決に向けて創造的に思考することができる。
５．社会性を身につけ、他者に共感し協働してものごとに取り組むことができる。

これらのディプロマポリシーを達成するために必要な科目を配置したカリキュラムが組まれていることから、卒業判定においては、学則第 23 条における「学長は、本学に４年以上在学して、第 15 条に定める単位を修得した者に対して、教授会の議を経て、卒業を認定する。」との規定に従い、卒業判定教授会において、各学生の在学年数および単位修得状況について確認し、学長が卒業を認定している。</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する方針の公表方法</td><td>大学ホームページにて公開している。
http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html</td></tr>
</table>

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人平安女学院ホームページ　財務情報 令和４年度＞貸借対照表 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
収支計算書又は損益計算書	学校法人平安女学院ホームページ　財務情報 令和４年度＞収支計算書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
財産目録	学校法人平安女学院ホームページ　財務情報 令和４年度＞財産目録 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
事業報告書	学校法人平安女学院ホームページ　財務情報 令和４年度＞事業報告書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
監事による監査報告（書）	学校法人平安女学院ホームページ　財務情報 令和４年度＞監事の監査報告書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）	
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学ＨＰの情報公開ページ、自己点検・評価報告欄にて掲載している。
http://www.heian.ac.jp/about/disclosure/self-assessment/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP にて公表している　） http://www.heian.ac.jp/learning/international/
（概要）国際観光学に関する専門的知識を涵養するとともに、 異文化を理解しホスピタリティ精神に富む人間性豊かな人材の育成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している　） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
（概要）大学全体としての方針は様式第２号の３にも記載しているとおり。 キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神である「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間に育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目標に掲げ、その実現を目指した教育課程を編成しています。 卒業までに以下の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生は卒業が認定されます。 ・社会人としての基礎知識である、平安女学院独自の「ジェネリックスキルズ」を学習し、さらに文部科学省「学士力」、経済産業省「社会人基礎力」を補強する。 ・建学の精神を体得した人間の姿として躾（マナー）・心得（スキル）・愛（思いやり）と　いう３つの資質を備える。 それに加えて国際観光学部としての方針が以下の通りでさる。 1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。 2. 課題発見、探究能力、実行力を核とするジェネリック・スキルを身につけている。 3. ホスピタリティ精神をもって他者と接することができる。 4. 観光の学びを通して、日本・世界の社会や文化の多様性を理解している。 5. 地域社会の課題を理解し、さまざまな地域活動に取り組み、地域に貢献できる能力を有している。 6. 国際的な環境の中で、能動的なコミュニケーションをすることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している　） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
（概要） 1.「教養科目」においては、「キリスト教学」「ジェネリックスキル」を必修科目とする。基本的な知識・技能を習得し、社会人として必要となる知識と技能を身につけるために「基礎科目」「教養展開科目」を配置する。 2.　「専門科目」においては、「観光・京都学コース」「ホスピタリティ・ビジネスコース」「外国語特修コース」の３つのコースで共通して学ぶべき科目と卒業研究科目を必修科目とする。 3. 各コースで求められる専門的な知識と技能を段階的に身につけるため、専門科目を「専門導入」「専門基礎」「専門展開」の各科目群に配置する。 4. 京都の伝統文化を学ぶ演習科目、京都のおもてなしや歴史・文化を学ぶ科目を配置し、京都のホスピタリティと文化を理解する。 5. 国際観光学を実践的に学ぶために「実習科目」を配置し、国際観光学の諸分野で必要とされる体験知を獲得する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している　　） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
（概要） 1. ジェネリックスキル、ホスピタリティ・マインドを身に付け、観光に関わる専門的知見を通して、社会に貢献したいという思いを強く有する方。 2. 国際的な視野から現代社会を捉え、将来海外で活躍したいと考えている方。 3. 観光の楽しみ方を学びつつ、人間の文化や社会についての知見を深め、豊かな人生を送りたいと考える方

学部等名　子ども教育学部
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP にて公表している　） http://www.heian.ac.jp/learning/elementary/#Purpose
（概要）子ども学に関する高度な専門的知識と実践力を涵養するとともに、 教育・保育の分野に幅広く携わる人間性豊かな人材の育成を目的としています。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している。） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
（概要） 大学全体としての方針は様式第 2 号の 3 にも記載しているとおり。 キリスト教の精神に基づく教育を通して、自由で自立した人格を形成するとともに、建学の精神である「知性を広げ、望みを高くし、感受性を豊かにし、そして神を知らせる」を体得した人間に育成し、地域社会ならびに国際社会に積極的に貢献する人材を養成することを目標に掲げ、その実現を目指した教育課程を編成しています。 卒業までに以下の能力を身につけ、所定の単位を修めた学生は卒業が認定されます。 ・社会人としての基礎知識である、平安女学院独自の「ジェネリックスキルズ」を学習し、さらに文部科学省「学士力」、経済産業省「社会人基礎力」を補強する。 ・建学の精神を体得した人間の姿として躾（マナー）・心得（スキル）・愛（思いやり）と　いう 3 つの資質を備える。 それに加えて子ども教育学部としての方針が以下の通りでさる。 1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。 2. 子どもの教育や保育に関する幅広い知識および技能を身につけ、それを応用し、実践につなげることができる。 3. 子どもの教育や保育に関わる専門家としての責任感、倫理観を持って、社会に貢献することができる。 4. 子どもを取り巻く様々な課題を多角的にとらえ、必要な情報を収集、分析、整理し、問題解決に向けて創造的に思考することができる。 5. 社会性を身につけ、他者に共感し協働してものごとに取り組むことができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している。　） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
（概要） 1. 豊かな教養を身につけるために「教養科目」を置き、「キリスト教学」、「キリスト教文化」を必修科目としてキリスト教の精神に基づく人間性を涵養するとともに、「伝統文化論（茶道）」を通して日本文化への理解を深められるようにする。 2. 「学部基幹科目」、「専門発展科目」、「子ども教育科目」、「乳幼児保育科目」、「初等中等教育科目」、「英語教育科目」、「発達・教育心理学科目」を体系的に配置し、子どもの教育・保育に関する専門知識、技能を修得できるようにすると

ともに、少人数での演習を通して応用力を身につける。 3.「実習科目」を置き、現場での学びを通して必要な技術を身につけ、教育・保育の専門家としての責任感、倫理観を育成できるようにする。 4. 自ら課題を設定し、調査研究や討議を行う演習科目を段階的に設置し、創造的思考力を高めることによって課題解決力を育て、自らの研究テーマについて卒業研究を通して深めることで、生涯にわたって学び続ける力をつける。 5. 行政と連携したインターンシップ科目を置くとともに、地域におけるボランティア等の体験的な学びを充実させ、組織的、計画的に活動することで社会性や他者との協働性を身につけた社会に貢献できる学生を育てられるようにする。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している） http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy/
（概要） 1. 子どもと関わることが好きで、子どもの成長や発達、発達支援、子どもの教育に強い関心がある方。 2. 子どもの多様な経験に理解を示し、家庭や地域の子育て支援に強い関心がある方。 3. 知識や技能を習得し、開かれた社会性と向上心を持って何ごとにも意欲的に取り組むことができる方。 4. 保育・児童福祉・学校教育の現場で専門職として社会に貢献する意欲が強い方。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ＨＰにて公表している。 http://www.heian.ac.jp/about/organization/univ/#unei

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	2 人	－					2 人
国際観光学部	－	11 人	1 人	1 人	4 人	0 人	17 人
子ども教育学部	－	8 人	4 人	1 人	6 人	0 人	19 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	52 人	52 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：ＨＰにて公表 国際観光… http://www.heian.ac.jp/learning/international/teacher/ 子ども教育… http://www.heian.ac.jp/learning/elementary/teacher/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
国際観光	100 人	40 人	40%	450 人	321 人	71.3%	10 人	12 人
子ども教育	80 人	55 人	68.8%	290 人	230 人	79.3%	-人	1 人
合計	180 人	95 人	52.8%	740 人	551 人	74.5%	10 人	13 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
国際観光	114 人 (100%)	1 人 (0.9%)	109 人 (95.6%)	4 人 (3.5%)
子ども教育	48 人 (100%)	2 人 (4.2%)	45 人 (93.8%)	1 人 (2.1%)
合計	162 人 (100%)	3 人 (1.9%)	154 人 (95.1%)	5 人 (3.1%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
シラバスの作成マニュアルとして「シラバスの作り方」を作成し、全授業担当者に配布している。その中で授業内容、到達目標、成績評価の方法等について記載するように求めている。当該年度のシラバスは、4月上旬の履修登録ガイダンス期間（例年4月4日頃）から公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
学期ごとに、全履修科目の成績評価の平均値を示すＧＰＡ（Grade Point Average）を算出する。算出式は次の通りである。

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{\text{（履修登録科目のグレード・ポイント×単位数）の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$$

グレード・ポイントは当該科目の成績評価により次の表の定めるとおりである。但し、N（認定）はＧＰＡの評価の対象とはしない。

評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	失格
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
国際観光	国際観光	128 単位	有・無	単位
			有・無	単位
子ども教育	子ども教育	128 単位	有・無	単位
			有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：
大学ＨＰにおいて、両キャンパスの紹介ページを設けて、キャンパスマップや施設についても掲載している。
京都キャンパス…http://www.heian.ac.jp/about/facility/kyoto/
高槻キャンパス…http://www.heian.ac.jp/about/facility/takatsuki/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名		授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
国際観光	国際観光	１年	980,000 円	250,000 円	170,000 円	
		２～４年	980,000 円	-	280,000 円	
子ども教育	子ども教育	１年	980,000 円	250,000 円	170,000 円	
		２～４年	980,000 円	-	280,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）
本学では、学生の修学支援に関して以下について公表している。

・クラス担任制度
本学では教員によるクラス担任制を導入し、学生生活全般にわたって学習指導や学生相談にあたっており、各学期当初にはクラス担任による個人面談を行っている。欠席数の多い学生に対しては、クラス担任が面談等による個別指導を実施しており、きめの細かい対応を心掛けている。また、オフィスアワーの時間も活用して、学生の個別相談に応じている。

・図書館による学習支援
図書館では学生の学習支援のために、図書館利用ガイダンスを実施している。これは新入生に図書館の利用方法や資料収集の基礎的な知識を修得させるための講習である。また、３年生に対しては、卒業研究を視野に、論文検索演習を実施している。授業担当の教員からの要請があれば、学年や学科に応じた個別のプログラムも提供しており、個別の相談には常時、カウンターでレファレンスに応じている。

・情報関連の学習支援
京都キャンパスと高槻キャンパスにそれぞれ情報処理演習室を置き、授業時間以外は学生に開放していり。トラブルや操作上の質問事項には、隣室に常駐する職員が対応している。

・学生の意見を汲み上げるシステム
学生からの学習に関する要望は、クラス担任、事務部教務チーム、学生サービスチームの各窓口で受け付けている。また、「授業評価アンケート」や「学生生活の満足度調査」を実施し、学生のニーズの把握に努めている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）キャリアサポートセンターでは、就職活動に必要なことが段階的に身に付くようプログラムした「就職ガイダンス・講座」をはじめ、「個別相談・面談」「学内企業セミナー」「資格検定支援講座と団体受験」「筆記試験対策講座」などを実施し、学生により多くの「気づき」の機会を提供していり。また、教職員が連携しながら、一人ひとりの「社会で通用する強み」を育成・支援している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）学生の悩みの相談として保健室にいつでも気軽に利用できるよう女性のカウンセラーと看護師が常駐していり。また臨床心理士が相談にのっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学 HP にて公開している。
http://www.heian.ac.jp/about/disclosure/publication/